

2021年度事業報告書 特定非営利活動法人 京都子育てネットワーク

1. 事業の報告

事業実施方針の1点目、京ネットの長期ビジョンに向かって立てた各チームにおける重点項目については、工夫を施された質の良い事業内容とスタッフの努力とスキル、地域との連携によって成果を出すことができた。2点目の方針、地域・企業・行政との関係構築については、京都府の補助金事業「デイスティ」において旅館との連携事業、深草支所からの移住子育てファミリー対象の委託事業などで新しい領域を開拓することができた。さらに下京区でつどいの広場のプロポーザルにおいてエリア内のネットワークを駆使して計画を立て、3月に受託が決定した。多くの収穫はあったが寄付収益増加には至らなかった。次年度の25周年事業のプロセスにおいて積極的に働きかけていくことを心掛けたい。3点目の方針、HP改変については全ての事業と連携しながら進めてきた。京ネットが持っている資源を子育て家庭や社会によりわかりやすく発信する土台づくりとなった。

2. 事業の実施に関する事項 特定非営利に係る事業

企画書番号	事業名	実施日時	実施場所	事業内容・成果・課題(①地域・行政・企業と連携してお母さんお父さんの力、子育てサークル活動を広める②十人十色の子育ての共感を広めよう③産前・産後の初めの一步を応援しよう)	受益対象者(人)	受益対象者	予算	事業収入額	支出額
1	いっぽ	水・日・祝を除く毎週5日	桂小学校ふれあいサロン3F	<p>①<成果>休所の中、zoomでのイベント開催やブログでの情報発信で子育て家庭と広場を繋いだり電話連絡等の際に近況を聞くなど母親の困りや気持ちに寄り添った。下半期の開所からは上半期に実施できなかったことを盛り込みつつ、利用者からのヒアリングによりそのニーズに応えた。ドレミっぽのコンサートなど、ほぼ半年だったが親子のつながり作りと、達成感を感じてもらった企画もできた。</p> <p><課題>連携事業の中止や保育所の先生が来所できないことがあり、急遽いっぽ単独で実施することがあった。休所により母親同士のつながり作りがゆっくりだったので父親のつながり作りも時間が足りなかった。</p> <p>②<成果>ダウン症児ママサークル「にじいろすまいる」の運営に関してフォローし、月一回の見まもりでは当事者といっぽの距離を近づけた。口唇口蓋裂「ひだまり」「おおきな木のおうち」などの対面開催が難しい時も、zoomにて実施できるよう支援。大阪、愛知、東京、岩手など他府県からの参加にもつながった。</p> <p>双子では、梅小路公園企画で他広場との連携、紹介で新規参加があった。又、不安を抱える双子妊婦をフォロー、先輩双子ママへつなぎ、出産に向けて前向きな気持ちを育んだ。</p> <p>③<成果>前年度、はぐくみ室のプレママ教室で広場紹介をした際の妊婦が出産、広場利用へとつながった。広場を早く知ってもらう為、西京区をつどいの広場5ヶ所全体のチラシの作成・配布を提案。はぐくみ室にて印刷、母子手帳配布時や、健診時などに配布されることとなった。</p> <p><課題>第二子以降の親子は広場や児童館などの情報をキャッチし頻りに利用されている一方、第一子はプレママ教室などもなく月齢が大きいのにどこにもつながっていない親子がいた。</p>	2834人	子育て家庭	6,661,000	7,121,065	7,121,065

1 子育て広場運営	2	ま～ぶりんぐ	木・日・祝を のぞく毎週 5日10時～ 16時	京都市 西京区 大枝東 新林町 3-5 UR洛西 新林団 地中央 集会所 内	<p>①成果：閉所措置などでなかなか思うように集まれなかった月もあったが、スタッフがzoomやラインで関係性が続くようフォロー。クリスマス会を企画したことをきっかけにメンバーの距離がぐんと縮まり、自主性が増した。課題：卒会が終わり、新規メンバー2名を加え4組の活動となっている。引き続きメンバー増員、卒会メンバーとの交流も視野に入れながらサークルならではのつながり作りを促進していく。</p> <p>②成果：発達遊びの取り組みを核に、個々の悩みに丁寧寄り添うことができている。と同時に、参加者同士の共感の輪が広がっている。課題：はぐくみ室や地域子育て支援拠点事業の体制が変わり、コロナ禍も加わって、行政も支援者も地域の乳幼児親子を知る・見る機会が減っている。とくにグレーゾーンと言われる子たちをどうフォローできるかが大きな問題。</p> <p>③成果：見栄えのするチラシ作成・SNS発信の仕方を工夫し、広場をより身近に感じてもらえるよう努力した。また、4ヶ月健診に絡めて開催している「きのひろば」は広場の様子が伝わりやすく、ま～ぶりんぐ利用につながる率が高く開催の意味が大きい。課題：洛西地域の0歳児利用が少ない。コロナ控えもあり深刻。引き続き関連機関に協力を仰ぎつつ、参加しやすいイベントから継続利用につなげたい。</p>	2073 人	子育て 家庭	5,144,000	5,329,059	5,329,059
	3	びおと～ぷ	火・日・祝を のぞく毎週 5日10時～ 16時	京都市 西京区 川島五 反長町 18-2京 都市交 流促進 まちづ くりプ ラザ 内	<p>①成果：「あかちゃん物語」は2期生が加わりスタート。今年度は京都新聞助成金を活用して、「私が利用してみてよかったと思う場所」MAPを作成。復職やコロナ禍で全員が集まることはなかなかできなかったが、LINEやzoomを活用して皆で作りに上げた。利用者さんの得意を生かす取り組みとしては、ハンドメイドが得意な利用者さんと一緒に講座を展開。参加者さんにとっても良い刺激となった。課題：今のところ卒会されるメンバーはなく、復職しても在籍。毎月1回、平日と土曜日を交互で開催し、どちらか来れる時に来るというスタンスをとっているが、メンバー全員が集まることは不可能。今後の仲間づくりをどう盛り上げるか要検討。</p> <p>②成果：子どもの健やかな発達を促す「のびすく」を通して、個々の悩みに寄り添い、親の「気づき」を得ると同時に、一人で抱え込まなくてもよい雰囲気づくりを心掛けた。「みんなじかん」では、毎回テーマを掲げざっくばらんに話しながら、親が様々な価値観を認め、多様な選択肢を知り、豊かな子育てへとつながるきっかけとなっている。課題：コロナ禍で、さまざまな支援・連携が滞りがち。気になる子育て世帯が見逃されず・途切れず支援していくために、関連機関との連携をより濃くしていく必要がある。</p> <p>③成果：立地条件の良さと、口コミ力、SNSを使った情報発信の工夫で、父親を含む多くの利用につながった。課題：パノパのつながり作りをどう盛り上げるか要検討。また、いまだ出て来られていない家庭にどう声を届けていくかを、関連機関とも相談しながら進める。</p>	3,186 人	子育て 家庭	5,144,000	5,415,294	5,415,294
	4	わくわく	木・日・祝を のぞく毎週 5日10時～ 16時	下京区 東若松 町821 -2 space25 25	<p>①ボランティアから京ネット会員や地域への活動へつなげる応援ができている。地域のお母さんたちの絵本の読み語りのボランティアの申し出があった。ひろばでのボランティアから地域での活躍の場へと広がるよう情報提供していく。</p> <p>②親同士が自分の考えや意見を伝える関係、一人ひとり違っていると認めあえる雰囲気づくりに努めている。</p> <p>③それぞれ個性があることを看板に十人十色のこども達で表現した。</p> <p>④地域資源や子育て支援、育児にかかわるニュースにアンテナを張り、新しい知識を得ようとしている。</p> <p>⑤地域の子育て支援情報コーナーを設置し情報を集めるとともに地域の情報をしるきっかけとなった。</p>	60 人	子育て 家庭	1,228,666	1,230,082	1,230,082

5	ふかふか子育てコミュニティベース	毎週月・水曜日10時～15時(第2水曜日休)	ふかふか家2階	<p>①成果:行政や近隣のつどいの広場との繋がりをより深め、互いにひろばの紹介にて来所されたりふかふか以外の場所で繋がりが深まったお話もたくさん聞いた。</p> <p>②多胎児親子の集まりを2か月に1度実施。妊婦さんや先輩ママも参加してもらい、当事者同士の交流の場とした。3月に稲荷の家ほっこりとの協働で、医療的ケアを必要とする団体「ほっこりちゃん」の写真展をふかふか1階にて実施。カフェ・ひろば利用者への共感を広められる機会となった。</p> <p>③来所定員3組の少ない人数の中で、交流や繋がりを感じられるようにママ同士の会話を繋げたりお子さん同士のふれあいを心掛けた。1組の時にはスタッフが親子に寄り添い、育児の話をしたり一緒に遊んでふかふかでの時間を楽しんでもらえるようにした。外遊びの実施を増やし、広場以外での仲間作り、ふれあう機会を増やした。 課題:Zoomでのオンライン実施は、コロナによる閉所時は参加があったが開所時は利用者の声を聞いて、内容や広報の工夫が必要。</p>	706人	子育て家庭	697,980	314,487	680,959
2 親の社会参画のコーディネート	6 mamaGAKU	年間3回	京都市交流促進・まちづくりプラザ第三多目的室・オンライン	<p>①施設の記念行事と一緒に開催したり、初のオンライン開催を実施しました。コロナ禍で子育てのスタイルも変わりましたが、一人では子育てが難しいと再認識された方も多く、オンライン・リアルでも人と人との繋がり大切さを感じる一年となりました。</p> <p>②オンラインでのmamaGAKUは、京都以外の方の参加もあり「おうち時間はどう過ごしている?」と言ったお話をシェアする機会も楽しんでいただけました。</p> <p>③mamaGAKUを通じて「つどいの広場」を知っていただくことができました。</p>	48組 (大人48人 子ども54人)	子育て家庭	126,650	105,000	77,862
7	子育てスクール	年間2回	びおと〜ふ	<p>①コロナ禍で人との出会いが少なく、子育てに不安があるママたちに地域で繋がることの大切さや同世代のママ友との出会いの大切さを知ってもらえた</p> <p>②2組づつ同級生だったこともあり、少し先の育児の話をきけたり、子育て中のあるある話など共通の話題や各家庭の子育ての話を聞くことができた</p> <p>③参加者さんにとって「いつものみんなの場所」ができたことが子育てにとって心の支えになりました。子育てサークル「あかちゃん物語」の先輩ママたちも次のメンバーが入ってくることを心待ちにしています。また、現在のメンバーの中にも2人目が子育てサークル2021のあかちゃんと同級生になる方もいて、良いつなぎ役になってくれることと思います。</p>	大人4人 子供4人	子育て家庭	73,040	20,000	25,776

3 （ 子 育 て の	8	中高生と赤ちゃんふれあい授業	依頼時期	依頼校 洛東高校 西乙訓高校 北野中	<p>①赤ちゃん授業の経験があるボランティアの方が今回もご参加頂き授業への理解がとともスムーズである洛東高校と北野中。今年度は対面授業での交流ができた。スピーカーと参加のママも高校生の生徒へとゆっくりと丁寧に質問に答えてくださっていました。対面授業では、生徒とママ達は交流を楽しんでおられ、赤ちゃんのパワーとお母さんの包む雰囲気高校生も笑顔がいっぱいでした。北野中のオンライン授業は、3日前に対面授業からの変更。クラス全体での交流で、昨年に引き続き和やかに進みました。西乙訓高校は5年連続での参加の坂本さん森田さんスピーカーとしてご参加パパの参加も3年目でしたが、コロナ禍で、事前準備を校長先生を交え検討していた。</p> <p>②子育て講演会は十人十色を大切にできた。今年度は洛東高校は妊婦さんふれあい授業1日、3人の子育て体験を聴く講演会と赤ちゃんふれあい授業を合わせて開催とした。講演会では妊娠出産子育てから地域でのつながり、お父さんの想いやお母さんの想い3人3様のお話を聴きながら、感想を生徒に書きとめていた。また今年度もダウン症のお子さんを育てる武田さんに講演していただけた。北野中は2020年度から赤ちゃんふれあい授業のみになる。</p> <p>③子育て講演会と赤ちゃんふれあい授業では、これから、産み育てる未来を想像し母や父として、自分たちならどうなるかなあなど、他人事ではなく、自分に置き換えて考えている生徒もいる気づきの時間となりました。パートナーとの関係性など、未来の自身のパートナーと重ねた質問が高校生では気になるようです。中学生の感想は後日先生からいただく予定。</p>	親子 16組 大人 16名 子ども 16名 スピーカー 大人6名 生徒295名	生徒・ 教員	35,010	112,500	88,850
	9	一時保育	不定期	京都市各文化会館・市民活動センター・オトナリラボ他京都市全域	<p>①成果：コロナ禍で件数が少ないながらも、普段利用されている団体からの保育を丁寧に実施。お子さんの成長を感じ、信頼関係も深めることができた。課題：保育数が少なく、新しいスタッフの研修の機会や現スタッフのスキルアップなどが難しい状況が続いている。</p> <p>②成果：京都府主催のサミットでは、不特定多数のお子さんを入れ替え制にて保育する初めてのスタイルを経験。年齢も幅広い中、スタッフそれぞれが個々に合った関わりをし、分担して安心安全な保育を行うことができた。</p> <p>課題：保育中のコロナ感染対策については、引き続き定期的にスタッフに注意事項などを共有する。</p> <p>③課題：一時保育活動について、様々な場面で周知するとともに、依頼数が増加した時に対応できるよう、スタッフの募集や研修なども進めておく。</p>	72人	子育て家庭	97,000	237,554	204,294
	10	親子の居場所づくり相談室	年間随時・電話相談：月・水13～15時	ふかふか家・派遣場所	<p>①【成果】コロナ禍という状況下で令和2年度よりオンラインでのアドバイザー対応も強化しニーズの受け皿を広げた。また、地域・企業と連携して親子の集まることのできる場の開拓として、旅館・ホテル・公園・商店街・大学・シルバー人材センターなどを対象に進めることができた。その結果、相談件数は、大幅に増加し、相談件数は64件、内容数は116件、アドバイザー派遣数も最低目標60件を大きく上回り92件と過去最高の数字になった。</p> <p>②【成果】医療的ケアの必要なお子さんの写真展示会をサポートしたり、疾病をもつお子さんのサークルの運営サポート、また当事者の声を発信する場を提供するなど幅広くつながりをもつことができた。</p> <p>③【成果】スクールやデイスティでアドバイザー講師派遣をすることで産後の仲間づくりのはじめの1歩の場を作り進めた。</p> <p>【課題】今年度で委託が終了し今後、これだけ対応してきた相談の受け口をどのように進めればよいのかを社協とも相談しつつ体制を整え、事業をとめないようにする。</p>	156件	子育てグループ	660,020	1,149,500	725,430

グループ コンサル テーション	11	こどもつな がり応援隊 事業	年間	かがり や、綿善 旅館、京 都みな み会館	<p>①講座とランチ(かがりや)はママ講師の力を発揮していただき、満足度の高い時間となった。企画を支えるために必須であった「宿泊施設の協力」を得るために5カ所の施設に趣旨説明をしたところ、いずれも子育て家庭のサポートに対して大きく賛同くださり協働で進めたいという意思表示をしていただけた。「地域のあらゆる資源が子育てを支える一翼を担うことができる可能性を秘めている」ことを発信できる有効な実績となった。</p> <p>②デイスティをきっかけに、はじめて赤ちゃん連れで電車に乗っておでかけした、という人がたくさんおられた。兄弟の参加OKの日をつくることで、異なるニーズにも応えることができた。</p> <p>③町家旅館「かがりや」においては午後1階で入浴(個別利用で随時お湯の入れ替え)、2階をお昼寝スペースと交流スペースに分けて解放。参加者はそれぞれ自分で選んで過ごす。お風呂利用者は約65%、布団利用(休息)者は50%、交流時間もしっかり確保して楽しんでられた。このデイスティは「ゆったりとした自分の時間も持ちつつ、仲間と子育てを楽しみ心身ともに元気に子育てをしたい」という親子のニーズに合致した子育て支援の入り口として重要であることがアンケート結果からもわかった。 [課題]継続するための予算確保が最大の課題である。</p>	78	子育 て家 庭	1,500,000	896,500	733,255
	12	仲間作りの ためのFa研 修	年間1回	ふかふ か家	<p>①子育てスクールやmamaGAKUをする際に、仲間づくりを意識できる動きをするため京ネットの理念を理解し、ファシリテーション技術を学ぶ</p> <p>②講座に来た様々な親子の橋渡し役となれるよう、多様な親子へのかかわり方を学ぶ</p> <p>③ファシリテーターと親子に分かれて学んだアイスブレイクを実践。連続講座の場合のアイスブレイクの組み立て方も学ぶ</p>	4 人	内部 メン バー	36,280	10,600	17,640
4 (情報 収集 ・発 信)	13	みらい会議	通年	適所	<p>・ホームページについては、Wixで作直すことになった。現在のものはコード埋め込み式で、知識がある人しか触れないが、Wixにすることによって誰でも編集できるようになる。ベースとなるページを小川さんに作成いただいた。現在構成を考え中。2022年度上期での完成を目指す。</p> <p>・25周年企画については、プロジェクトチームを立ち上げ、テーマを”つながりの再構築”とした。企画内容としては、子育てあるある川柳コンテストと、こども服の古着を通したSDGsの取り組み、そして公式ラインの再立ち上げを考えているが、予算規模(助成金結果待ち)によって検討しながら進めていく。</p>	人	子育 て家 庭	120,680	0	103,980
5 (地域 ・行政 ・企業との	14	赤ちゃんす くすねっと 東山	年間	東山区 役所	<p>①東山はぐくみ室からの委託事業。主任児童委員が東山で誕生した赤ちゃんの子育て家庭へ訪問し、地域で親子をつつなく架け橋となるハッピーギフトを進めてきた。訪問件数が昨年の53件から81件へと伸びた。120セットの納品をした。子育てサークルや地域関係機関の方々も交えて主任児童委員さんのことを身近な存在として知ってもらえるチラシ作成のためのワークショップを開催(21人参加)。当事者からの生の声を届けてもらったことは成果があった。</p> <p>【課題】今後、新しいチラシを配布しての感想などを聞き取りをする必要がある。また子どもの人数が少ないためにギフトを届けるなどの活動が十分にできない主任児童委員さんもおられる。その方々も役割にやりがいと楽しさを感じながら果たせるように仕組みづくりを考えていければと思う。</p> <p>②【成果】主任児童委員さん向けにワークショップを行い、多様な子育て家庭について話し合うことができた。</p> <p>【課題】欠席の委員さんが参加しやすい方法を行政と協議する。</p> <p>③【成果】ハッピーギフトを届ける思いを主任児童委員とワークショップで話し合い、言語化することで意識を深めてもらうことができた。自宅訪問される際に子育て家庭への言葉かけがより温かいものとなり、地域で顔がつながり1歩を応援することができる機運を作った。</p> <p>【課題】引き続き、主任児童委員さんと共に地域でできることを話し合っていく。</p>	21 人	子育 て家 庭	238,480	250,000	246,673

5 地域・行政・企業との連携	連続	15	ウェルカム 深草プロ ジェクト	4月～12月	深草支 所及び 深草地 域	<p>①成果:ツアー実施に向けて、ひろばの利用ママとワークショップを実施。地域の良さやスポットなどの声をたくさん聞き、ツアーに反映。クイズとロコミ情報冊子も作成できた。支所や地域の企業と連携し、関係を深めることができた。</p> <p>②成果:2回実施したツアー(稲荷山おさんぽ、疎水歩きクイズラリー)では、参加者同士が交流することを大事にしながら地域をより深く知ってもらえる企画とし、パパも含めて親子それぞれの繋がりが生まれた。</p> <p>課題:計画や支所との調整に少し時間がかかり、ツアー広報期間が短く、対象者への声かけが足りなかった。</p> <p>③成果:コロナ禍の中でイベントが少ない中、外でのお散歩企画を実施して仲間作りと地域へのお出かけ、そして楽しさを感じてもらえた。</p>	31 人(イ ベン ト 数2 回)	子育 て家 庭	70,584	120,000	26,463
		16	深草マル シェ	9月～3月 11:00～ 12:00 計7 回	深草商 店街	<p>①成果:商店街をはじめ、高齢サポート団体、行政、大学など様々な団体と連携して、地域のイベントを開催することができた。ママ講師を派遣したり、地域のスタッフにも関わってもらい、支援の力をさらに広げた。課題:当初計画よりも実施時間が短くなり、参加数を増やせなかった。</p> <p>②成果:手作りのワークショップにて、参加者同士も関わり合いながら楽しむことができた。</p> <p>③子ども向けのワークショップや衣服リサイクルなど子育て層が参加しやすい企画とし、そこからお店を知ったり地域の人との関わりを広げた。</p> <p>課題:広報期間が短かったこと、SNSなどでの情報発信も足りなかった。</p>	43 人(計 4回)	子育 て家 庭	69,290	46,360	42,320
		17	深草子育て 応援プロ ジェクト	12月～3月	深草エリ ア	取材先アレンジは、深草で子育てを応援する方3名(布おもちゃ大江さん、ハウスアップ太田さん、紙ヒコーキ橋本さん)をおつなぎし、取材していただいた。深草の親子さんが深草で安心して子育てできるようなメッセージを込めた記事にしてください。またご紹介した3名は以前につながりのあった方々だったが改めて関係性が深まり、今後の京ネットの活動においても協働ができそうである。アンケートの回答協力については、ふかふかと、近隣広場に依頼して計〇件のアンケート回答を集めた。集まった声は、大平印刷さんより深草支所さんへ共有いただき今後の取り組みに活かして行っていただく。	3件	子育 て家 庭	42,920	100,000	40,530
			京都市つど いの広場つ ながりづくり プロジェクト	10月29日		つどいの広場の連絡会で作っているメーリングを活用してコロナ禍における事業の不安などをアンケート調査・意見聴取をした。育成推進課とその結果を共有する場を設定し理事長と担当広場がプロジェクトの代表として協議した。現場からの不満の声と育成推進課からの声の間を取り持つことで良い関係性を構築できている。現場の思いを理解してもらいつつ、利用者ファーストで広場を開催し続けることが叶うように引き続き調整する。次年度、担当広場が交代できるように働きかけていく。			0	0	0
			京都府総合 計画・地域 創生戦略推 進会議	8月18日	オンライ ン	京都府総合計画の実施状況、地域創生戦略のKPI達成状況、予算・決算における主要事業などの進捗状況の報告を受ける。数字に反映されない府民の声もキャッチしつつより安心して暮らせる地域となることの重要性を発言した。			0	2,000	0
			京都府子育 てにやさし いまちづくり モデル事業 交付金の選 定	8月3日2022 年3月15日	オンライ ン	福知山市、城陽市、長岡京市、木津川市、宇治田原町の各市町村の事業計画の内容が、やさしいまちづくりモデル事業交付金としてふさわしいかを審査した。様々地域の環境や課題感が異なるなか、地域ネットワークを生かした先駆性のあるものから基本を押さえた事業など見られたが、そもそも「子育てにやさしいまち」の定義に経済活性の仕組みが入り、福祉の視点がぼやけないような制度設計の必要性を感じた。			0	4,000	0

5 地域・行政・企業との連携 *委嘱・参画委員会など	京都府特定事業主行動計画評価委員会	10月26日	オンライン	行動計画の状況をヒアリングした。府庁内における育児休暇取得、子連れ出勤の利用が行えるようにするために、トップダウンで進める傾向が見られた。制度運用と職員への情報提供を体系的・効果的に行いつつ、職員全たい対して意義の周知と啓発することを第1義として進めてほしいことを伝える。具体的に京ネットが行っている子育てあるあるの取り組みを紹介した。翌月に理事長が講師を務めた子育てセミナーに職員も参加くださり関心を伺えた。				2,000		
	京都市はぐみ推進審議会	1月14日	書面審査	「利用者支援事業」において「地域の関係機関と連携を強化」を目指すための体制づくりとしてにつどいの広場活用の提案、「病児・病後児保育」の予算推移について、「放課後児童健全育成事業」の環境整備について、「養育支援訪問事業」見込み数減少について、「育児支援ヘルパー派遣事業」利用者数について等、質問及び意見・提案を行った。				0	0	
	京都市伏見区地域福祉推進委員会	3月	書面	高齢者・障害者分野への声が多く、子育て支援分野への関心が低いことへの意見。				0	0	0
	京都市はぐみネットワーク			子育て応援交流会：中止(2月5日)				0	0	
	子どもを共に育む京都市市民憲章推進協議会	4月12日・6月21日・11月8日	Zoom	京都市はぐみ憲章実践者表彰の選考や、はぐみ憲章行動指針の策定に関わった。				0	6,000	0
	京都市交通バリアフリー推進検討会議	2月	書面審議	バリアフリー化は誰もが共有できる財産のようなもので、利用するすべての人の利益になる。鉄道駅のバリアフリー料金に関して障がい者のバリアフリーのために値上げするのではなく、すべての人の為であることを共通理解したい。バリアフリーが特別なことではなく、標準仕様のためのものとなってほしい、という旨を発言。				0	0	0
	西京区つどいの広場交流会	8月30日	各広場zoom	今年度も西京区子育て支援ネットワークの研修会がなかったので、報告会としての開催ではなく、各広場のコロナ禍での現状や課題を本書、洛西のはぐみ質も交えて情報交換会を行った。プレママ教室が休止中、つどいの広場へ早くつなげてもらうよう西京区5広場全体のチラシを割く節することとなった。				0	0	0
	桂学区子育て支援連絡会	7月・3月	書面	学区の連絡会は幾度かオンラインなどの提案もしたが開催されず、年2回の書面報告となった。				0	0	0
	桂学区ステーション事業	2月2日	西京児童館	学区連絡会、ステーション事業共に休止状態。ステーション事業としては支援者向けに研修(消防署による救命救急講座)が実施された。				0	0	0
西京区子育て支援ネットワーク連絡会・幹事会	2月8日	西京区役所 保健福祉センター	西京区本所管内の合同会議に次年度よりつどいの広場も参加することになり、事前顔合わせ。西京区の子育て支援の現状と課題を話し合いプレママ教室とつどいの広場の連携事業などを提案した。							

	洛西ニュータウンまちづくりネットワーク会議	12月1日3月28日	洛西支所・住宅供給公社	洛西ニュータウンのまちづくりを、行政と住民が一緒になって考え進める。4か年計画であった洛西ニュータウンアクションプログラム終了後、主要なメンバーだけが残り引き続き検討していく。人口減少を食い止めるための多様な策を討議していく。			0	0	0
	洛西支所幹事会	4月23日7月20日	洛西支所	はぐくみ室・社協・民生・久世保育所(地域支援)・ま〜ぶりんぐが集まって定期的開催。			0	0	0
	たけっこぐんぐんプロジェクト委員会	7月9日9月28日3月15日(書面)	洛西支所	洛西地域の民生児童委員・はぐくみ室・ま〜ぶりんぐ・久世保育所で構成。あかちゃん訪問事業、らくさい親子はぐくみスタンプラリー、「らくさいっこあつまれ〜」についての話し合い			0	0	0
	洛西基幹ステーション会議	7月20日12月17日	洛西支所	洛西地域の基幹ステーション合同会議。コロナ禍での取り組みの工夫や困りについて共有・意見交換			0	0	0
	新林地域子育て支援ステーション事業「新林ネットワーク会議」	7月16日、11月5日、3月11日(書面)	新林児童館	新林学区の小学校・保育園・児童館・社協・民生・保護司・ま〜ぶりんぐで構成。新林学区の子どもたちの様子を共有。健全育成のために何が必要か意見交換している。			0	0	0
	洛西地域子育て支援ステーション会議	6月30日、2月18日	洛西支所	洛西地域の地域ステーション合同会議。「らくさいっこあつまれ〜！」開催に向けて打ち合わせ・準備・見返りとともに、支援者同士の連携を高める。			0	0	0
	「深草の魅力『知って』『感じる』体感プロジェクト」実行委員会	2022/3/15	深草支所	深草支所が提案する、子育て世代のふかくさへの移住・定住に向けた取り組みに関わり、内容の検討・意見交換を実施。2021年度の取り組み報告と、子育てしやすいまちづくりについての意見交換を行った。			0	0	0
	ふかくしゃべり場	毎月1回水曜日	ふかふか家	地域の様々な活動団体(高齢者支援、まちあるきなど)と、商店街、行政などが参加する会議。それぞれの情報を共有したり、地域の課題について話し合う場。			0	0	0
6 事 務 局	18 事務局(会計・名簿管理・渉外窓口・書類作成など)	0	0				966,825	0	877,915
	19 事務局経費(通信費・送料・保険など)	0	0				248,681	0	254,493
	20 会議費	0	0				264,000	0	254,493